

[庄原市が控訴]広島 TV ニュースより引用

破綻したバイオマス事業を巡る住民訴訟で、広島地裁は先月、庄原市に対し前の市長に2億3800万円余りを請求するよう命じた。この判決を不服として庄原市は8日、控訴する方針を明らかにした。

庄原市の木質バイオマス事業は事業者の経営破綻や不正受給の発覚により頓挫。市が補助金2億3800万円余りを国に返還する事態となった。

その後、住民が裁判を起し先月30日、広島地裁が返還額全額を前市長に請求するよう市に命じた。

8日の全員協議会で控訴理由を「改めて市の主張をしていく」と繰り返す市側に、議員から疑問の声も上がった。

■庄原市議

「もうこれ以上、市費を使わないでほしいというのが圧倒的な市民の声」

記者会見で、判決を不服とした理由を問われた木山市長は次のように話した。

■庄原市 木山耕三市長

「(国への補助金返還は)補助事業者の不正請求によるものであると考えているので、控訴してしっかり市の考えを述べてまいりたい」

控訴期限は今月13日。市は控訴費用730万円を計上した補正予算案を12日の臨時議会に提出する。